

令和5年度版 大杉東小学校 国語科 第6学年

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
4	—	六年生で学ぶこと				
4	—	言葉で伝え合おう	—	—		
4	2 (話す 聞く2)	自分に質問してみよう	<p>◇自分のことを客観的に捉えて話す。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒◎思判表 A(1)ア</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A(1)イ</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p>	1・2	<p>○クラスのみんに聞いてみたい質問を出し合い、考えを交流するという学習の見通しをもつ。</p> <p>1. みんなへの質問をカードに書く。 ・教科書の例を参考にしながら、質問を考える。</p> <p>2. カードを引いて、質問を決める。</p> <p>3. 質問にどう答えるか、考える。 ・自分で具体的な質問を考えて答えを書き出す。</p> <p>4. グループで発表する。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）</p> <p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア）</p> <p>【態度】積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を</p>

					生かして質問について考えよう としている。	
4	1	風景 純銀もざいく	<p>□繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒知技(1)ク</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒◎知技(1)ケ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p>	3	<p>1. 『風景 純銀もざいく』を音読する。</p> <p>(1) 1連・2連・3連で、見えたり、聞こえたりしたことを考える。</p> <p>(2) 音読して気づいたことや気になったことを挙げ、交流する。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。(〔知識及び技能〕(1)ケ)</p> <p>◎【思判表】人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>【態度】進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気</p>

		<p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p>			をつけて音読しようとしている。
2	あの坂をのぼれば	<p>□言葉の意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。</p> <p>△文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、</p>	4	○学習の見通しをもつ	◎【知技】文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）
			5	<p>確かめよう</p> <p>1. 全文を音読し、言葉の意味を考えたり、確認したりする。</p> <p>考えよう・深めよう</p> <p>2. 登場人物の心情が分かるところを見つけ、心の動き</p>	

			<p>語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>を想像しながら声に出して読む。</p> <p>(1) 登場人物の心情が分かるところを見つける。</p> <p>(2) 登場人物の心の動きを想像しながら声に出して読む。</p> <p>広げよう</p> <p>3. すてきだと思ふ情景について、感想を話し合う。</p> <p>○学習をふり返る。</p>	<p>像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p> <p>【態度】 進んで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。</p>	
4	3(書く 3)	図に表して考えよう	<p>■考えや意見を図に書いてまとめる。△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使</p>	1	<p>○教科書を読んで、考えを広げたり、まとめたりする際には、いろいろな図があることを知り、学習の見通しをもつ。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2))</p>

			<p>い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア☆全ての学習：ノート作りに活用できる。</p>	<p>2 3</p>	<p>1. 実際に考える図を使ってみる。(随筆や意見文を書く際に使う。) 2. 意見をまとめるノート作りを、学期に15分程度の1モジュールずつ確認し、交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>イ) ◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。([思考力、判断力、表現力等] Bア) 【態度】粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。</p>
4 ~ 5	11 (書く6)	一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう	△■自分に重ねながら随筆を読み、それを参考に、自分のものの見方や考え方を深め、経験したことなどを表現を工夫して書く。			
4	3 (書く1)	春はあけぼの	<p>△『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けると</p>	1	<p>○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. p. 22 を読み、教材の概略をつかむ。</p> <p>2. 教師の範読に合わせて読み、リズム等をつかんで、原文を繰り返し音読する。</p>	◎【知技】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。([知識及

ともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ

△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ

△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア

△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。 ⇒知技(3)イ

■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
⇒◎思判表 B(1)ア

2・3

3. 各「季節」の情景をイメージする。

4. 好きな「季節」の文章を、大意を参照しながら、何度も音読する。

び技能] (3)ア)

◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)

◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ)

【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の

			<p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒◎思判表 C(1)カ</p> <p>■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ</p> <p>☆総合的な学習の時間・道徳：古典の響きに親しみを持ち、昔と現代の違いや共通点について興味をもって調べたり、関心を高めたりする。</p>	<p>5. 自分の感じる季節感を『枕草子』ふうに書いて、交流する。</p>	<p>見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。</p>
5	3	薫風「迷う」	<p>□筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しむ。△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章</p>	<p>4</p> <p>○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>確かめよう</p> <p>1. 二つの随筆を読んで、筆者が取り上げているものや、どのような思い出、事例を挙げているのか確かめる。</p> <p>(1) 「薫風」のもともとの意味を確かめ、それに対して筆者（黛さん）はどのようなものを「薫風」の例に挙げているのか考える。</p> <p>(2) それぞれの「薫風」に対する筆者（黛さん）の思い出を、ノートにまとめる。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。（〔思考力、判断力、</p>

		<p>全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ⇒◎思 判表 C(1)ア□目的に応じて、文章と図表などを結び 付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め 方について考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像した り、表現の効果を考えたりすること。 ⇒思判表 C(1)エ□文章を読んで理解したことに基づいて、自 分の考えをまとめること。 ⇒思判表 C(1)オ□文章 を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考え を広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、 自分の生き方などについて考えたことを伝え合っ たりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p> <p>☆道徳：随筆の読みをとおして、真理を大切にし、 進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよく しようとする。</p>	<p>(3) 「迷う」「迷わない」の事例や、事例に対する筆者 (日高さん)の考えを表にまとめ、それぞれの事例や筆 者の考えについて話し合う。</p> <p>5 考えよう</p> <p>2. 二つの随筆を比べ、話し合う。</p> <p>(1) 二つの随筆を比べ、①取り上げている具体例は何 か(何を通して)。②個性的な表現はどこか。③筆者独 自のものの方・考え方は何か。について話し合う。</p> <p>(2) 「薫風」に、黛さん独自の意味を加えたことで、ど のような効果があったのか話し合う。</p> <p>(3) 「迷う」ことに対して、日高さんがどのように考え ているについて話し合う。</p> <p>6 深めよう</p> <p>3. それぞれの随筆に対する感想をノートにメモして、 紹介しあう。</p> <p>○学習をふり返ろう</p>	<p>表現力等] Cア) ◎【思判表】「読 むこと」において、目的に応じて、 文章と図表などを結び付けるな どして必要な情報を見付けたり、 論の進め方について考えたりし ている。(【思考力、判断力、表 現力等] Cウ) 【態度】積極的に 随筆の特徴について理解し、今ま での学習を生かして、者のもの の方や感じ方などに触れ、随筆に 親しもうとしている。</p>
--	--	---	--	--

5	5 (書く5)	随筆を書こう	<p>■心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書く。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒ 知技(1)イ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知・技能(1)カ</p> <p>△比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関</p>	7 8 9・10	<p>○「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう(重点)</p> <p>1. 書く事柄を決める。</p> <p>・仮のテーマ「風」について、どのような経験があるか考える。</p> <p>組み立てよう(重点)</p> <p>2. 体験や事例を書き出し、自分の考えをまとめる。</p> <p>書こう・読み返そう</p> <p>3・4. 読み返しながらかく。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【知技】比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考</p>
---	------------	--------	---	--	--	--

		<p>係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>⇒◎思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ</p> <p>☆総合的な学習の時間など：卒業文集を作成するときに活用できる。</p>	11	<p>伝え合おう</p> <p>5. 友達と読み合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>力、判断力、表現力等] Bア)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等] Bイ)</p> <p>【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書こうとしている。</p>
--	--	--	----	---	--

5	1	漢字の広場 ①三字以上の熟語の構成	<p>△三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技</p> <p>(1)エ△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「少人数」「保健室」「身体測定」という熟語の意味を考える。</p> <p>2. p.46の説明にそって、三字と四字の熟語の構成について知る。</p> <p>3. 辞典を利用して、三字と四字の熟語を集め、その構成を考え、ノートにまとめ、発表し合う。</p> <p>4. 切れ目に「/」を入れて、三文字以上の熟語の構成について話し合う。</p> <p>5. 略語と、略す前の熟語とを比べる。</p>	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
	1 (書く1)	漢字の広場 ① 五年生で学んだ漢字 ①	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ</p>	2	6. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) ◎【思判表】「書くこと」にお

			<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>7. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>8. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>いて、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
5 ～ 6	5（書く 2）	二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	□■雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討しながら		

			ら読み、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめる。			
5 (書く 2)	雪は新しいエネルギー	<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</p>	<p>1・2</p> <p>○環境に関わる言葉を巡って話し合い、学習の見通しを持つ。</p> <p>確かめよう</p> <p>1.</p> <p>(1) 「地球温暖化」や「異常気象」「再生可能エネルギー」などの言葉について、知っていることを話し合う。</p> <p>(2) p.52⑥段落までを読んで、「雪はエネルギー」とはどのようなことか説明する。さらに、雪がエネルギーだとすると、どのように利用できるか、⑤段落の事例をヒントに話し合う。</p> <p>3</p> <p>考えよう</p> <p>2.</p> <p>(1) 筆者があげている雪エネルギーの利用について、事例ごとにその利用の仕方や利点などをノートにまとめる。</p> <p>(2) 筆者が、雪をエネルギーとして利用することを主張しているのはなぜか、「化石燃料」「再生可能エネルギー」という言葉を使って説明する。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表な</p>		

		<p>⇒◎思判表 C(1)ア</p> <p><input type="checkbox"/> 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ</p> <p><input type="checkbox"/> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 C(1)オ</p> <p><input type="checkbox"/> 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p><input type="checkbox"/> 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表 C(2)ア</p>	<p>(3) 雪エネルギーの利用によって、筆者は、雪国の暮らしにどのような変化の可能性を考えているか、また、どのような課題があると言っているか、説明する。</p> <p>4 深めよう</p> <p>3.</p> <p>(1) 筆者が、雪エネルギーの利用可能性を述べる際に取り上げている事例の順序を検討し、そのようにする筆者の意図について話し合う。</p> <p>(2) 筆者が、雪エネルギーの利用可能性を述べる際、克服しなければならない課題にも触れていることの効果を考え、話し合う。</p> <p>5 広げよう</p> <p>4.</p> <p>(1) 「雪は新しいエネルギー」を読んで、筆者の考えや説明の仕方について、考えたことを文章にまとめる。</p> <p>(2) 書いた文章を友達と読み会い、感想を話し合う。</p> <p>○学習をふり返る。</p>	<p>どを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)</p> <p>【態度】積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。</p>
--	--	---	---	---

6	2	主語と述語の対応をみる	<p>△主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p>	<p>1 ○冒頭の会話文を通して、文を見直す際に主語と述語の対応を確認することが大事だということを知る。</p> <p>1. 教科書の例文を読み、どのように直せば主語と述語が対応するか理解する。</p> <p>2. ねじれ文を修正することで、主語と述語の対応について理解を深める。</p> <p>3. 作文を書くときに、主語と述語の対応をよく確認しているかふり返る。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>【態度】積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。</p>
6	10 (話す聞く 6, 書く 4)	三 立場を決めて、主張を明確にしよう	◇■立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。		
6	6 (話す聞く 6)	地域の防災について話し合う	<p>◇意見の違いを大事にしながらか話し合い、考えを深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変</p>	<p>1 ○単元名やリード文を読み、お互いの意見を尊重しながら話し合うことについて考え、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 決めよう・集めよう</p> <p>1. 立場を決め、くわしく調べる。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p>

		<p>化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。</p> <p>⇒知技(1)キ</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A(1)イ</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 A(1)エ</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒◎思判表 A(1)オ</p> <p>◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>(1) 教科書を読み、パネルディスカッションの意図と進め方を知る。</p> <p>(2) 自分たちで話し合うテーマを設定する。</p> <p>組み立てよう</p> <p>2. 資料をもとに主張を組み立てる。</p> <p>(3) 自分たちが設定したテーマにそって準備をし、パネルディスカッションを行う。</p> <p>*テーマに対する観点とグループのメンバーを決める。</p> <p>*グループで情報を調べたり、整理したりして、自分たちの主張をまとめる。</p> <p>話そう・聞こう (重点)</p> <p>3. パネルディスカッションを行う。</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ)</p> <p>【態度】粘り強く意見の違いを大事にしながら話し合い、学習の見直しをもって考えを深めようとしている。</p>
--	--	---	----------------------------	--	--

			<p>☆特別活動・総合的な学習の時間など：問題意識や互いの立場・主張を明確にしなが、計画的に話し合う。</p>	<p>5 (4) 2 回め・3 回めを行う。</p> <p>6 伝え合おう</p> <p>4. 感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	
6	4 (書く 4)	パンフレットで知らせよう	<p>■相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒ 知技(1)イ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒ ◎知技(2)イ</p>	<p>1 ○教科書を読み、どのようにパンフレットを作るのかイメージし、学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <p>1. 違う立場の人どうしてグループになり、知らせたい内容を話し合う。</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p>

		<p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p>	<p>2</p> <p>3・4</p>	<p>組み立てよう (重点)</p> <p>2. 書く分担を決め、構成を考える。</p> <p>書こう・読み返そう (重点)</p> <p>3・4. パンフレットを作り、読み返す。</p> <p>伝え合おう</p> <p>5. パンフレットを読み合う。</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bウ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bエ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bオ）</p> <p>【態度】積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題</p>
--	--	---	---------------------	---	--

			☆総合的な学習の時間など：事物を紹介する活動でも活用できる。		○学習を振り返る。	に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
6	1(書く 1)	雨	△「雨」を扱った言語表現を集める。△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ	1	1. 教科書の文章から「雨」を取り上げた言語表現を知り、その背景を考える。 2. 「雨」に関するさまざまな言語表現を、辞典などで調べたり、これまで読んだ本の描写を思い出して確かめたりしながらノートに書く。	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア)【態度】粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。

7	2	<p>世代による言葉のちがいを</p>	<p>△世代による言葉遣いの違いについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。</p> <p>⇒◎知技(3)ウ</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒思判表 A(1)オ</p> <p>◇インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表 A(2)イ</p>	<p>1 ○世代によって使用する言葉に違いがあることもあるということを知り、学習活動に対する見通しをもつ。</p> <p>1. 言葉には、年上の世代の人たちには使われていたが、今はほとんど使われなくなったものがあるということについて理解する。</p> <p>2. 言葉には、自分たちの世代にしか通用しないものもあるということを理解する。</p> <p>3. 言葉には、人が成長する過程で一時的に用いられるものもあるということを知る。</p> <p>2 4. 家の人に行ったインタビューの内容をグループでまとめて確かめあう。</p> <p>5. 世代によって使われる言葉の違いや、普段友達どうしで話しているときに使ってしまうくだけた表現の言葉について、クラス全体で話し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ)</p> <p>【態度】積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。</p>
---	---	---------------------	--	---	--

7	1	漢字の広場 ②複数の意味をもつ漢字	△複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒◎知技(3)ウ	1	○学習内容を理解し、学習の見直しをもつ。 1. 「象」という漢字の意味を考える。 2. p.80 下段を読み、「象」という漢字には、もとの意味と、派生した意味をあわせもっていることを知る。 3. 「布」「針」を使ったそれぞれの熟語がどのような意味で使われているかを話し合う。 4. p.81 下段の設問に取り組み、傍線の漢字がそれぞれどのような意味で使われているかを考え、違いを話し合い、辞典で調べる。	◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもつて複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
	1 (書く1)	漢字の広場 ② 五年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字	2	5. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) ◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるよう

			<p>を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>6. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p> <p>7. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>に、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
7	7 (話す聞く2)	四 すぐれた表現の効果を考えて、登場人物の心情を読もう	□優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。		
7		川とノリオ	<p>△比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク</p> <p>△文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒◎知</p>	1	<p>○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>◎【知技】 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ク)</p>

		<p>技(1)ケ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒ 知技(1)カ</p> <p>◇目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討すること。 ⇒ 思判表 A(1)ア</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒ 思判表 A(1)オ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えること。 ⇒ ◎思判表 C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすること。 ⇒ ◎思判表 C(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめること。 ⇒ 思判表 C(1)◎オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分</p>	2~4	<p>確かめよう</p> <p>1. 印象に残った場面を紹介し合う。</p> <p>考えよう</p> <p>2. 出来事の確認や，登場人物の変容，表現の工夫や効果について考えたり話し合ったりする。</p> <p>(1) いつ，どのようなできごとが起こったのか表に整理する。川や川つぶちがノリオに対してどのような様子であったか考える。</p> <p>(2) 物語の中で，ノリオはどのように変容したのか。なぜ変容したのか話し合う。</p> <p>(3) 次のような表現を他にも探し，その効果について話し合う。</p> <p>「比喩」「色」「体言止め」「擬人法」「音や様子」「くり返し」</p>	<p>◎【知技】文章を音読している。 (〔知識及び技能〕(1)ケ)</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりしている。(〔思考力，判断力，表現力等〕Aオ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えている。(〔思考力，判断力，表現力等〕Cイ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において，人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。(〔思考力，判断力，表現力等〕Cエ)</p>
--	--	--	-----	--	--

		<p>の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)◎カ</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p> <p>☆道徳：物語の読みをとおして、生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする。</p>	<p>5</p> <p>6・7</p>	<p>深めよう</p> <p>3. この物語における「川」とは何を表しているのか、全体の構成や、「川とノリオ」という題名をもとに考える。</p> <p>広げよう</p> <p>4. 心に残った表現を見つけ、感想を話し合う。自分の感じたことが伝わるように朗読する。</p> <p>○学習のふり返り。</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）</p> <p>【態度】進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。</p>
--	--	--	---------------------	--	--

			<p>感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>2. 三連について考えたことを話し合う。</p>	<p>彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)【態度】積極的に言葉の広がりを楽しみ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。</p>	
9	1 (書く 1)	「知恵の言葉」を集めよう	<p>△生活の中で使われている知恵の言葉に気がつき、言葉の使い方への理解を深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p>	1	<p>1 暮らしの中に、ものの名前や物事の手順を唱え言葉で覚える工夫があることを知り、教材文を読んで集めたり調べたりする意欲を持つ。</p> <p>2 自分の知っている「知恵の言葉」や本で調べた覚え歌、ことわざなどを集めたり整理したりして友達と交流する。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア)</p>

			<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p>	<p>3 自分の得意技や知っているコツを伝えやすいように「知恵の言葉」にして紹介しよう。</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bア）</p> <p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。</p>
9	5 (書く 5)	五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう	■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。		
		物語を作ろう	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続</p>	<p>1 ○「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <p>1. 写真の中から登場人物を決め、人物設定をする。</p> <p>(1) 写真を見て想像を広げる。</p> <p>(2) 登場人物を選び、人物設定を「人物カード」に書く。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（〔知識及び技能〕(1)カ）</p>

		<p>の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒知技(1)ク</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p>	<p>2</p> <p>3・4</p> <p>5</p>	<p>組み立てよう (重点)</p> <p>2. 物語を組み立てる。</p> <p>(1) 物語の大まかな展開を考える。</p> <p>(2) グループで話し合い、読者の視点も加えて構成を考える。</p> <p>(3) あらすじを書く。</p> <p>書こう・読み返そう (重点)</p> <p>3・4. 物語を作り、読み返す。</p> <p>伝え合おう</p> <p>5. 友達と読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p> <p>【態度】積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開</p>
--	--	--	------------------------------	--	---

			<p>■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)イ</p>		<p>を考えて物語を作ろうとしている。</p>
9	3 (話す聞く 1)	<p>会話を広げる</p>	<p>△ 相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)エ</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)オ</p> <p>◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ</p>	<p>1</p> <p>○相手とのつながりを作る言葉のはたらきについて学習することを理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 会話をするとき話のきっかけとなる話題を作ること意識し、相手のことを考えて言葉を選ぶことの大切さを考える。</p> <p>2</p> <p>2. 言葉の内容だけでなく、言い方にも工夫が必要であることを考える。</p> <p>3. 電話で相手が見えない場合の円滑なコミュニケーションはどうすればいいのか考える。</p> <p>4. 同じ音である「うん。」でも込められる気持ちや言葉のはたらきが違うことを考える。</p> <p>3</p> <p>5. 相手が話すことを促すための工夫を考え、話し合う。</p> <p>6. 会話の中でコミュニケーションを上手にとるための、話すときと聞くときの工夫を考え話し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ）</p> <p>【態度】積極的に相手とのつな</p>

						がりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。
9	1	漢字の広場 ③熟語の使い分け	△意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに担当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ	1	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 「大事」と「重要」の使い方の違いを考え、それぞれの文には、どちらがふさわしいかを話し合う。 2. 「経験」と「体験」等の使い方の違いを考え、二つの熟語の使い分けを考えたり、国語辞典などを利用してそれぞれの意味と用例を調べたりして、確かめる。 3. よく似た熟語を使って短文を作り、それぞれの違いを比べる。	◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）【態度】積極的に前学年や当該学年で担当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。

<p>1 (書く1)</p>	<p>漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかどうか、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>2</p> <p>4. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。</p> <p>5. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ)</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
--------------------	--------------------------------	--	--	---

					<p>6. 書いた文を見直し、適切な表現に替えたり、まちがいを正したりして、発表し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	
月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項 (1) ・ 言語活動例 (2) 〉	時	学習活動	評価規準
10	—	六年生で学ぶこと				
10	12 (話す 聞く 3, 書く 2)	一 「心の世界」について考 え、自分の考えを伝え合おう				

10	1	あなたはどう感じる？	<p>□友達と自分の感じ方の違いについて考える。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表C(1)オ</p>	1	○単元名やリード文を読んで、学習の見通しをもつ。	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)</p> <p>【態度】進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>
10	7 (書く1)	ぼくの世界、君の世界	□筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。	1・2	○単元名やリード文を読んで、学習の見通しをもつ。	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解して

△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ

△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ

△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア

△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ

■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒思判表 B(1)イ

■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ

確かめよう

1. 筆者が取り上げた「心の世界」についてのさまざまな例を捉える。

(1) 「昔から大真面目に議論されてきた問題」とはどのような問題か。文章中の言葉を使って説明する。「例えば」という書き出しで、前の部分の具体的な説明がされていることを確認する。

(2) 筆者が「ぼくの世界、君の世界」についての考えを伝えるために、いくつの例を出しているのか確認し、電球、「あまみ」「痛み」、友達と好きなアニメについて話し合っている部分の四つが挙げられていることを捉える。

電球、「あまみ」「痛み」の例と、友達と好きなアニメについて話し合っている例をとおして、筆者はどのようなことを言いたいのか、自分の経験も合わせて話し合う。

考えよう

2. 筆者の主張に対しての自分の考えをまとめる。
筆者の主張である「心を伝え合うための努力が必要」という部分に対して、筆者があげている例で共感できる部分や共感できない部分はあるかを整理し、自分の考えをまとめる。

いる。(〔知識及び技能〕(2)ア)

【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)

◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ)

◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、表現

■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ

□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

⇒思判表 C(1)ア

□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ

□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 C(1)オ

□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ

■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア

□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒思判表 C(2)ア

☆道徳：自分と他の人には、その人なりの「心の世

5・6 深めよう

3. 共通理解をする体験から考えを深める。

(1) 一枚の写真を見て、感じたことを一言で表現し、発表し合う。

(2) 同じような感じを受けた者同士でグループになって質問し合い、互いの共通点と相違点を出し合う。

(3) 全体で発表し合い、言葉で伝えることで感じ方の違いを理解し合えることについて考えをまとめる。

7 広げよう

4. 『ぼくの世界、君の世界』を読んで考えたことをもとに、「自分の世界」について考えて書く。

(1) 学習を振り返り、「心を伝え合うための努力」とはどのようなことか考える。

(2) 「自分の世界」を140文字程度で書き表す。

○学習を振り返る。

力等] Cオ)

【態度】進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。

			界」があることを知り、相手の立場に立ち、自分と異なる意見や立場を大切にする心情を育む。			
10	4(話す 聞く3・ 書く1)	「うれしさ」って何?—哲 学対話をしよう	◇お互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容	9	○「うれしさ」について考え、互いの感じ方を伝え合うという学習の見通しをもつ。 決めよう・集めよう 1. 「うれしさ」について考える。(1)人はどんなときに「うれしく」なるのか、を考える。「うれしい」というとき、どんな場面を思い浮かべるか、発表し合う。(2)「うれしかったこと」「うれしいと感じるとき」を思い出し、具体的な場面を2〜4つ書き出す。 組み立てよう 2.「うれしさ」を感じた体験をカードに書く。 書き出した中から1〜2つを選び、「なぜうれしいと感じたのか」「どんなふうなうれしさだったのか」をメモする。	◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめていく。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが

		<p>を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A(1)イ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 A(1)エ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒◎思判表 A(1)オ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(2)ウ</p>	<p>10・ 11</p> <p>話そう・聞こう（重点）</p> <p>3. 「うれしさ」に話し合い、分類する。</p> <p>(1) グループで発表し合う。聞き手は、質問したり感想を伝えたりすることで、話し手の「うれしさ」の感じを確かめながら聞く。</p> <p>(2) グループで出された「うれしさ」を分類し、名前を付ける。</p> <p>12</p> <p>伝え合おう</p> <p>4. 発表し合い、感想を交流する。</p> <p>(1) グループごとに「うれしさ」の種類を発表する。</p> <p>(2) 「うれしさ」の種類を、学級全体でまとめ直す。</p> <p>○話し合いを通して気づいたことや、残った疑問などをまとめる。</p>	<p>ら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ）</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）【態度】積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、これまでの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>	
5 (書く2)	言葉は時代とともに	△言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。	1・2	1. 『言葉は時代とともに』を読み、言葉の変化について考える。	◎ 【知技】 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大

△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。 ⇒◎知技(3)イ

△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ

△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ

△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ

■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ

■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章

2. 『万葉集』や近代の代表的な文学者の作品にふれて、その言語表現を味わう。

3 3. 身のまわりの事物から、言葉の変化を考えてみる。

4・5 4. 時代とともに変化していく言葉について調べて、考えたことを交流する。

体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)

【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bカ)

【態度】積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。

			<p>のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p>☆総合的な学習の時間・道徳:時代とともに変化していく言葉について興味をもって調べたり、わが国の伝統や文化への関心を高めたりする。</p>		
11	6(書く6)	二 説得力のある文章を書こう	■理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。		
11		自分の考えを発信しよう	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒知技(1)イ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とそ</p>	<p>1 ○「学習の進め方」を読み、どのように意見文を書くのかイメージし、学習の見直しをもつ。</p> <p>2 決めよう・集めよう 1. 課題を決めて、取材する。</p> <p>3 組み立てよう 2. 自分の主張を効果的に伝える構成を考える。</p>	<p>◎【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている</p>

		<p>の特徴について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒◎思判表 B(1)オ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかな</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>書こう（重点）</p> <p>3. 意見文を書く。</p> <p>読み返そう（重点）</p> <p>4. 意見文を読み返す。</p> <p>伝え合おう（重点）</p> <p>5. 友達と読み合って、交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>とともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bウ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bエ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bオ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bカ）</p>
--	--	--	----------------------------	---	---

			<p>ど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表 B(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p>☆総合的な学習の時間など：文章を書く活動でも活用できる。</p>			<p>【態度】積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
11	1	漢字の広場 ④ 音を表す部分	<p>△形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. p.38「1」の設問にある文例を読み「清」「晴」「精」の共通点について考える。</p> <p>2. p.39「2」の設問に取り組み、音を表す部分が、へん・つくり・かんむり・あし等のどの位置にあるか話し合う。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。（〔知識及び技能〕(3)ウ）</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、</p>

		<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒◎知技(3)ウ</p>	<p>3. 文字によって音が違うものもあることを知る。</p> <p>4. p.39「3」の設問をもとに、未習の漢字の読みを推測する。</p> <p>5. p.39「4」の設問に取り組み、音を表す部分への関心を深める。</p> <p>6. p.39「5」の設問を解き、同音の漢字を正しく使い分けるようにする。</p> <p>7. p.39「6」の設問に取り組み、音を表す部分を共通にもつ漢字の仲間を探し、ノートにまとめ、それぞれの漢字を使った熟語を集め発表し合う。</p>	<p>音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
--	--	--	--	---------------------------------

	1(書く 1)	漢字の広場 ④五年生で学んだ漢字 ④	△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技 (1)ウ△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	2	8. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。 9. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。 10. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。 ○学習したことをふり返る。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くとしている。
11 ～ 12	8(書く 2)	三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう	□登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。			

<p>11 ～ 12</p>	<p>きつねの窓</p>	<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ</p> <p>□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表 C(1)イ</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 C(1)オ</p>	<p>1 ○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>2・3 確かめよう</p> <p>1. 子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化をまとめる。</p> <p>4・5 考えよう</p> <p>2. 「窓」に移ったものや、「ぼく」と子ぎつねの「窓」に映ったものを比べて気づいたことをノートにまとめる。</p> <p>6 深めよう</p> <p>3. 不思議な世界に行ったことによって、「ぼく」にはどのような変化があったのか話し合う。</p> <p>7・8 広げよう</p> <p>4. 「窓」でどのようなものを見たいのか、理由と合わせて想像したことを書き、友達と読み合う。</p> <p>○学習をふり返る。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(〔知識及び技能〕(1)オ)</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」におい</p>
------------------------	--------------	--	--	--

			<p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：物語の読みをとおして、生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重することについての考えを深める。</p>			<p>て、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>【態度】進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。</p>
12	6(話す聞く2・書く2)	書評を書いて話し合おう	<p>△これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒◎知技(1)イ△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ△思考に関わる語句の量を増し、話や文章</p>	1・2	○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。	<p>◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるよ</p>

の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ△文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ△日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。⇒◎知技(3)オ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表 A(1)ア◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。⇒◎思判表 A(1)イ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒◎思判表 A(1)ウ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表 A(1)エ

決める・集める

1. 自分が紹介しようとする本を読む。

3 組み立てる・書く

2. 自分の考えを整理して書く。

うに、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ)◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ)【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(〔思考力、判断力、

		<p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表 C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表 C(1)カ</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ</p> <p>☆図書館指導：友達に紹介された本を探して読む。</p>	4	<p>伝える・伝え合う</p> <p>3. 書いた文章を紹介し合い、互いに感想を交流する。</p>	<p>表現力等] Cオ) 【態度】進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。</p>
--	--	---	---	--	--

12	2	敬意を表す言い方	<p>△話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。 ⇒◎知技(1)キ</p>	<p>1 ○冒頭の会話文を通して、敬意を表す際に様々な言い方があることを知る。</p> <p>1. 教科書を読み、敬意を表す言い方としてどのような言い方が適切か理解する。</p> <p>2. 場面や相手に応じて、敬意を表す言い方として適切な言い方を選ぶ。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。</p> <p>(〔知識及び技能〕(1)キ)</p> <p>【態度】積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>
----	---	----------	--	--	---

1	2 (話す 聞く 1・ 書く 1)	言葉と私たち	<p>言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心を持つ。△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。</p> <p>⇒知技(1)イ△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A(1)イ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 C(1)オ□説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたこと</p>	<p>1</p> <p>1. 自分たちにとって言葉とは何か考えてみる。2. 教科書の三人のメッセージを読み、それぞれについての感想を交流する。</p> <p>2</p> <p>3. 言葉に対しての自分の思いを書く。</p> <p>4. 書いたものをグループや学級で交流して言葉についての興味や関心を深める。</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p> <p>(〔知識及び技能〕(1)イ) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ) 【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ) 【態度】粘り強</p>
---	----------------------------	--------	--	---	--

			を、話し合ったり文章にまとめたりする活動。 ⇒ 思判表 C(2)ア□学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。 ⇒思判表 C(2)ウ		く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。
1	1	漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	△異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変	1 ○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. p.74 上段の設問にある文例を読み「あける」の意味や使い方について考える。 2. p.74 下段の設問に取り組み、言葉の意味や漢字の使い方を考えて話し合う。	◎【知技】・思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに

		<p>化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ</p>		<p>3. p.75 上段の「つとめる」「はかる」について、辞書を使い、適切な漢字を選ぶ。</p> <p>4. p.75 下段の言葉を使って文を作り、ノートにまとめ、発表し合う。</p>	<p>正しく使い分けようとしている。</p>
1(書く 1)	漢字の広場 ⑤五年生で学んだ漢字⑤	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p>	2	<p>5. 教科書の絵を見て、描かれている様子について説明する。</p> <p>6. 4年生までに習った漢字を使って、絵に描かれている様子や物、人物がしていることなどを説明する文を書く。</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表</p>

			<p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ ■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)カ</p> <p>■事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ</p>	<p>7. 互いの作った文を読み合い、感想や意見を述べ合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕 Bウ）</p> <p>【態度】積極的に前学年や当該学年で担当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
1 ～ 2	11(書く 3)	四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう	□伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。		
1 ～ 2		伊能忠敬	<p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や</p>	<p>1 ○単元とびらを読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>2・3 確かめよう</p> <p>1. 時を表す言葉や年齢を手がかりに、伊能忠敬の人生を年表に整理する。</p>	<p>【知技】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p> <p>（〔知識及び技能〕(1)カ）</p> <p>【思判表】「書くこと」において、</p>

語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ

△文の中での語句の係り方や語順，文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開，話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ

■目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすること。

⇒思判表 B(1)ア

■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)ウ

□登場人物の相互関係や心情などについて，描写を基に捉えること。 ⇒思判表 C(1)イ

□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすること。 ⇒◎思判表 C(1)エ

4・5 **考えよう**

2. 伊能忠敬がどのような人物なのか（性格・ものの見方・考え方など）がわかる文を選んで，伊能忠敬の人物像を話し合う。

6・7 **深めよう**

3. 伊能忠敬の生き方で深く考えさせられたことをまとめ，それについての自分の考えを，ノートに書く。

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりしているなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Bウ）

◎【思判表】「読むこと」において，人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Cエ）

◎【思判表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめている。（〔思考力，判断力，表現力等〕 Cオ）

◎【思判表】「読むこと」において

			<p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること ⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>□詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：伝記の読みをとおして、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする気持ちをもつ。</p>	8~11	<p>広げよう</p> <p>4. 伊能忠敬について、どのような人物なのかの紹介と、その生き方についての自分の考えをポスターにまとめて、友達と読み合う。</p> <p>◎学習をふり返る。</p>	<p>て、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）</p> <p>【態度】積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。</p>
2	2	日本語の文字	<p>△日本語の文字の由来や特徴に関心を持ち、適切に使い分けることができる。</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮</p>	1	<p>○日本語は、さまざまな文字を使って書き分けられていることを知り、学習活動に対する見通しをもつ。</p> <p>1. 漢字の由来・特徴について理解する。</p> <p>2. 平仮名と片仮名の由来・特徴について理解する。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質な</p>

			<p>名及び漢字の由来, 特質などについて理解すること。</p> <p>⇒◎知技(3)ウ</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに, 送り仮名や仮名遣いにも注意して書くこと。</p> <p>⇒知技(1)ウ</p> <p>◇目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(1)ア</p> <p>◇意見や提案など自分の考えを話したり, それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表 A(2)ア</p>	2	<p>3. ローマ字の由来・特質について理解する。</p> <p>4. 日本語の文字と外国語の文字との違いについて理解する。</p> <p>5. 日常生活の中で, 日本語の文字がどのように使われているかを話し合う。</p> <p>○学習したことをふり返る。</p>	<p>どについて理解している。(〔知識及び技能〕(3)ウ)</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において, 目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討している。(〔思考力, 判断力, 表現力等〕Aア)</p> <p>【態度】積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し, 今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
2	1	漢字の広場 ⑥さまざまな読み方	<p>△同形異語や熟字訓, 同字異訓についての理解を深め, 言葉の使い方に関心をもつ。△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに, 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ△第5学年及び第6学年の各学年において</p>	1	<p>○学習内容を理解し, 学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「上手」を例に, 意味によって読み方が変わる言葉(同形異語)について知り, それぞれの意味や感じ方の違いを比べる。</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し, 話の中で使っているとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしてい</p>

は、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒◎知技(1)オ△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ

2. p.108 下段の設問に取り組み、話し合う。

3. 「特別な読み方の言葉」（熟字訓など）について知り、p.110 の一覧表を使って、どのような言葉があるのか確かめる。

4. 「降」「背」「夜」「尊」など、複数の訓がある漢字（同字異訓）の読み分け方について関心をもつ。

5. p.155 からの「小学校で学んだ漢字」をもとに複数の訓がある漢字を探し、送り仮名に注意し、表現の効果などについて確かめたり、工夫したりして文を書き、友達どうして読み合う。

る。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（〔知識及び技能〕(1)オ）【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。

					○学習したことをふり返る。	
2 ～ 3	8(話す 聞く4・ 書く4)	五 出会った言葉を振り返る う	◇■□卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ。			
2 ～ 3		ひろがる言葉	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒ ◎【知技】(1)イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ △文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒知技(1)カ ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒◎【思判表】A(1)ア	1	1. 六年間の言葉の学びを振り返りながら、「卒業式で自分のおくりたい言葉」を選ぶ。 2. 自分で選んだ言葉をグループ内で交流する。	◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)イ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aア) ◇「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕

		<p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表 A(1)ウ</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表 A(1)エ</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒◎思判表 A(1)オ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒思判表 B(1)イ</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表 B(1)エ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒思判表 B(1)オ</p>	2	<p>3. 選んだ言葉を工夫して表現する。</p> <p>4. 様々な表現方法で選んだ言葉を交流し、みんなの思いを共有する。</p>	<p>Aオ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（[思考力、判断力、表現力等] Bウ）</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（[思考力、判断力、表現力等] Bカ）</p> <p>【態度】積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとしている。</p>
--	--	---	---	--	---

■文章全体の構成や展開が明確になっているかな
ど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章
のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表 B(1)カ

◇目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決
め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え
合う内容を検討すること。 ⇒思判表 A(2)ア

■事実や経験を基に, 感じたり考えたりしたことや
自分にとっての意味について文章に書く活動。 ⇒
思判表 B(2)ウ